

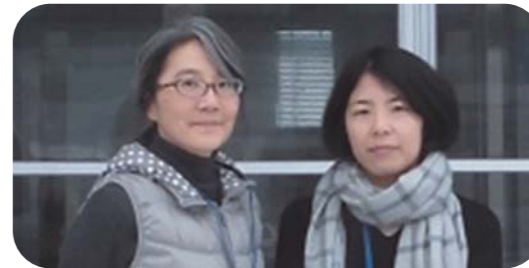


### 謹賀新年

#### 12月定例会

平成30年度補正予算	2
一般質問	4
広域組合議会	11
先進地視察・モニターの声	12
特集100号記念	14
私のひとこと	16

## 私 の ひ と こ と



【佐藤 直美】  
(東京都府中市出身)

十月から尾花沢市地域おこし協力隊として東京から来ました佐藤直美です。  
スイカが大好きで、スイカづくり体験会で何度か尾花沢を訪れるうちに、すっかり魅了されました。東京では事務職をしていましたが、以前から漠然と田舎暮らしや農業に興味があり、今後は農業を中心として色々な尾花沢の特産品や伝統文化を習得し、多くの方にも知ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。



### 地域おこし協力隊

【久保田 文】  
(宮城県仙台市出身)

はじめまして。十一月から地域おこし協力隊として着任しました久保田文です。仙台市から移住し、特技の料理を生かして魅力を伝える活動をして行きたいと思っています。目下、気になっていることは、尾花沢のお漬物のこと。同じ「おみづけ」でも地域ごとで作り方が違うとのことなので、ぜひみなさまの地域の漬物作りを教えてくださいと思っています！



### 来市された議会

- 10月23日  
北海道共和町議会  
ふるさと暮らし応援事業
- 10月24日  
福井県大野市議会  
ふるさと尾花沢応援基金
- 10月25日  
茨城県守谷市議会  
地域おこし協力隊づくり
- 11月20日  
山形県大蔵村議会  
庁舎建設に伴う住民説明などの経過と広報  
各自治体の課題について視察されました。

#### 発行責任者

- 議長 須貝 孝  
市議会だより編集委員  
委員長 小関 英子  
副委員長 鈴木 裕雅  
委員 青野 隆一  
委員 塩原未知子  
委員 笹原 和子  
委員 伊藤 浩  
委員 鈴木 清

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

### 表紙の説明

毎年12月24日に行われる芦沢地区に伝わる地蔵様まつり。6年生が別当となり、玄関先で中学生がどんづきを行いながら、来る年の幸せを願って全戸を回る。

### お詫びと訂正

議会だより99号を次のとおり訂正します。  
4P 下段文中、陽性を陰性に。  
7P 写真、健康増進ウエアを健康フェスタに。

尾花沢市議会  
インターネット中継  
市のホームページから  
アクセスできます

www.city.obanazawa.yamagata.jp

## 補正予算の内容

予 算	補正額	総 額
一般会計予算	3億6,177万9千円	135億7,232万9千円
特別会計		
簡易水道	791万2千円	2億5,029万7千円
介護保険	7,500万円	20億1,185万2千円
後期高齢者医療保険	1,280万6千円	2億 666万5千円



小規模農地等災害緊急復旧対策事業費補助金  
3,556万7千円



観光振興施設整備支援事業補助金(銀山温泉)  
3,000万円



新庁舎用祭り山車(模型)修復業務委託料  
600万円



高齢者生きがい活動促進事業補助金  
100万円(旧 高橋保育園)



福祉灯油購入扶助  
350万円



小中学校エアコン設置工事請負費  
5,424万8千円

平成30年12月定例会は、12月6日から14日まで9日間の会期で開催され、一般会計補正予算や、条例の一部改正など8議案、人事案件4件を慎重に審議した結果、いづれも原案どおり可決しました。

また、請願2案件のうち、1件を採択し、1件は継続審査としました。

さらに議員発議として、今季水稻の大幅減収に関わる農家の救済支援を求める意見書を提出することを決議しました。その主な内容を紹介します。

## 定例会のあらまし

## 議案審議の主な内容

### 学校への エアコン設置

**問** 購入するエアコンは何台になるのか。また在庫の確保は大丈夫か。

**答** 市内の小中学校に62台、中学校41台の合計103台となる。業務用のエアコンは品薄だが、家庭用なので、在庫確保は大丈夫と考えている。

**問** 工事委託業者は、市内の業者にすべきと考えるが、いかがか。

**答** 市の指名業者選定規程に基づいて、市内に本社を有する電気工事及び管工事登録業者を指定し、年明け早々に指名したい。

### キッズ遊具 購入費

**問** 新庁舎のキッズ遊具購入費400万円の内容はなにか。また通路への設置はふさわしくないのでは。

**答** 内容は室内用のデジタルPR板100万円、アンプ150万円、遊具150万円となっている。今までの話し合いの中で、色々な要望が出されたので、乳幼児検診の際にも使用する。



ABESA キッズコーナー

## 請願・意見書

### 請願第4号

◎ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出に関する請願 (採択)

### 請願第5号

◎「核兵器禁止条約について、政府が締結することを求める」意見書の提出に関する請願 (継続審査)

### 意見書 議会案第6号

◎今季水稻の大幅減収に関わる農家の救済支援を求める意見書 (可決)

## 12月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載 他は全会一致)

受審番号	採決の結果	鈴木裕雅	塩原未知子	和田哲	星川薫	笹原和子	伊藤浩	武田佳久	大類好彦	青野隆一	鈴木清	小関英子	加藤克彦	奥山格	須貝孝	星川睦子	菅野修一
一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議会案第6号	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

○：賛成 ×：反対 /：議長

# 観光産業の進行ビジョン再構築を！

市長…地域住民と話し合い、活性化に努めていく



塩原未知子 議員

**問** 観光産業振興の増員などの環境整備が重要と考えるがどうか。

**答** 銀山地区より旧柴田屋旅館を活用し、公衆トイレや観光案内所、公衆浴場、集会所を一体的に整備したい旨の要望書が提出された。駐車場は住民間で用地の調整を図っている。来年度中に話し合いの段階から参加して具体的な計画をまとめたい。

**問** 東北中央自動車道が全線開通となった際の活性化策はどうか。

**答** 全線開通でストローク現象にならないよう対策が必要。「道の駅ねま

**問** 徳良湖100周年小水力発電、太陽光パネルが設置されている環境にやさしいまちづくりをPRしながら徳良湖と銀山温泉を結ぶ周遊コースを構築してはどうか。

**答** 県内初「大正ロマン再生可能エネルギーパーク」に認定された。新庁舎のエネルギー棟で、暖房の約半分を木質ペレットボイラーや雪冷房、地中熱

**問** 学園都市構想とは

**答** 老朽化した校舎は冬期間の寒さが厳しいため、できるだけ快適にしたい。

**問** GI(地理的表示保護制度)取得は進んでいるか。

**答** 尾花沢すいかの産地には村山市、大石田町も含まれるため難しい。JA以外の出荷団体や農家をとりまとめできないため進んでいない。尾花沢牛はGI取得に尾花沢産牛振興協議会と協議しながら進めている。

**問** 区長や民生委員の働き方改革を！

**答** 燃料が2割高騰しているが、できるだけ暖房には配慮する。使わなくなった公共施設は7年で7校を順次解体していく。今後旧市民会館や研修棟など2施設も解体予定である。

**問** 区長、民生委員は以前より市からの委託業務も多くなった。改善しないのか。

**答** 自主防災組織の役割や問口除雪対象者の対応で業務が増えた。特に配布物は冬に多い。社会福祉協議会、地区の協力員や区長と協力し民生委員の負担を軽減していく。

今、雪景色は海外からも人気急上昇中！日帰りの方のおもてなしも充実したいいな



議員のつぶやき…

# どうする！ どうなる？ 6人の議員はこう質した

12月定例会 一般質問

塩原未知子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 徳良湖100周年産業と文化を核として展開してはどうか</li> <li>◇ 人口減少中の持続可能な学園都市構想とは</li> <li>◇ 観光産業振興ビジョン</li> <li>◇ 夢のある農業振興ビジョン</li> <li>◇ 区長や民生委員の働き方改革とペーパーレス化</li> </ul>	鈴木裕雅	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 危険空き家</li> <li>◇ 鳥獣被害対策</li> <li>◇ 市長が掲げる10の施策</li> </ul>
伊藤浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 尾花沢市の農業政策</li> <li>◇ 今後の学校統合計画</li> <li>◇ 今シーズンの除雪体制</li> </ul>	青野隆一	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市政施行60周年を契機に厄介者の雪を地域資源に変える</li> <li>◇ 定住化政策に三世同居推進事業を</li> <li>◇ 鳥獣被害防止対策を上山市に学べ</li> <li>◇ 学園構想の具体的な進め方</li> </ul>
星川薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 少子化対策に力を注ぐべき</li> <li>◇ 大学・短大・専修学校卒業後、本市に帰ってくる施策を</li> <li>◇ 流雪溝整備を加速化するための施策を</li> </ul>	鈴木清	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 国民健康保険税の負担軽減をどうすべきか</li> <li>◇ 「子どもの貧困」の県調査と子育て支援</li> <li>◇ 出生数減少と保育行政</li> </ul>

## あけましておめでとうございます

新年の  
ごあいさつ

尾花沢市議会議長 須貝 孝

本年5月には、新庁舎において市政が執行されます。私達市議会は、市民の皆様への監視機能や政策提案機能を十分に発揮できるように議会改革に努めてまいります。また、議員として常に市政発展を願い、安心な市民生活と福祉向上のため一丸となって頑張っておりますので本年も宜しくお願い致します。

イラスト ふるせしおり&すずきまゆし

小関 英子、加藤 克彦、塩原 未知子、奥山 格、青野 隆一、菅野 修一、笹原 和子、星川 睦子、武田 佳久、大類 好彦、鈴木 裕雅、和田 哲、伊藤 浩、星川 薫、鈴木 清

# 待ったなしの人口減少対策をどう進めるのか

## 市長…結婚、医療支援など子育て環境の充実に努める



星川 薫 議員

### 少子化対策

**問** 平成29年度の出生数は77名、平成30年度は60名と予測されており、2040年の尾花沢市の人口は、8,600人台との推計が出ている。特定不妊治療費助成の所得制限撤廃と全額補助を提案する。

**答** 本事業は、不妊治療のうち体外受精及び顕微授精の特定不妊治療を受けた方が対象となる。この治療は健康保険適応外であるため、1回の治療費も約40万円〜50万円と高額であり、経済的負担も極めて大きい。今後は、費用負担の多い特定不妊治療に対する助成額の見直しや、早期



検査など、必要に応じて適切な治療を開始できるように助成の対象範囲についても見直しを図っていく。

### 大学・短大・専修学校卒業後、本市に帰ってくる施策を

**問** 若者が帰郷することを中心とする給付型奨学金、山形大学医学部などと連携した医師確保のための給付型奨学金を創設してはどうか。

**答** 帰郷を条件とした給付型奨学金の創設の提案ですが、市内への居住や就職などの条件をつけた場合、条件に合致しなければ返還が必要となるケースも出てくる。定住した際の償還支援型など県の若者定着奨学金返還支援事業とは別に、独自に財源を確保した上で、持続可能な人口減少対策となるような制度の創設に向けて調査・研究をする。また、山形大学医学部などと連携した給付型奨学金の創設は、県が実施する本制度の利用状況や大学卒業後の就職状況、他市町村の実施状況などを参考に調査・研究していく。

### 流雪溝整備を加速化するための施策を

**問** 県が制定する「雪条利権取得問題、豪雪地帯対策特別措置法に基づく事業の展開など、様々な見識が要求される。雪対策部署を設け、スピードアップ化を図り、人口流出を防ぐべきではないか。

**答** 平成7年から市の職員も100名ほど削減しており、建設課の職員数も大幅に減少している中、課全体で取り組んでいる。新しく課を設けて雪に取り組み姿勢も必要だが、職員採用の人数との折り合いも考慮して庁内で検討する。

調査・研究するより、まず実行しないと…



議員のつぶやき…

# 間口除雪は具体的に進めるべきである

## 市長…まずは除雪困難者宅を重点に進めていく



伊藤 浩 議員

### 農業政策

**問** 「多面的機能支払交付金事業」と「中山間地域等持続的農地保全事業」は本市の農地保全に大きく寄与している。来年度以降の事業継続を国と県に強く要望すべきである。

**答** この事業は農地の保全と共に農村集落の活性化にも大きく寄与していると考えられる。これまで国と県に対して、事業の継続要望活動を行って来た。県単事業の「中山間地域等持続的農地保全支援事業」についても、さらに要望を継続していく。

**問** 自己管理保全となっている水田のうち、カウント水田は転作を行う

ても交付金対象外となっており、農地保全の考え方に逆行していると考えられる。国に対して緩和を求めていくべきである。

**答** 現在242haが指摘のカウント水田となっている。除外要件として、農地中間管理機構を通じ、賃貸借契約が締結され、転作を行った場合となっている。今後とも、農地プランで対象農地の掘り起こしを行い、荒廃農地の防止に努めていきたい。

### 学校統合計画

**問** 少子化が急速に進む中、統合の動きが活発になっている。10年・20年先を見据えた統合計画を、早急に策定すべきと考える。

また、統合後の校舎の有効利用計画も同時に進めるべきではないか。

**答** 将来にわたり、子ども達の教育環境を充実させていくためには、先を見据えた計画のもと、施策を展開して行かなければならない。学校教育検討委員会でも議論をした結果を、市の教育委員会に提言していただく。その後総合教育会議で議論し、総合計画策定に向けて取り組んでいく。閉校後の施設の利活用については、色々な角度から検討していきたい。

### 除雪体制

**問** 市長公約に掲げた間口除雪は、市民が大きな期待をしている。具体的な

的にどういう形で進めようとしているのか。

**答** 除雪にあたる業者の皆さんや民生委員、区長さん方の協力をいただきながら、まずは除雪困難者宅などを重点に進めていきたい。

**問** 高齢者世帯等除雪扶助事業について、運用の方法の見直しを提言してきたが、今シーズンへの運用はどうか。

**答** 今シーズンから、新登録者の方から事前に登録を行っていただき、委託者が除雪券を使用できる方法を加えた。この方法で委託者が一時的に現金で支払いを行う必要はなくなる。

「雪を眺むる尾花沢」を色々な形で発信していこう



議員のつぶやき…

# 厄介者の雪を地域資源に変えよう！

## 市長…県や市内組織との連携強化を図りたい



青野 隆一 議員

**問** 市制施行60周年を契機に、日本三雪に相応しい本格的な雪室を設置して、新そば同然の最上早生を周年で提供したり、おいしい農畜産物の高価格販売や雪室商品の開発、コメの保管などで厄介者の雪を地域資源に変えていく考えはないか。

**答** 農協や農業法人からアクションがあれば、前向きに支援していきたい。

**問** 青森県黒石市が作った高さ日本一の雪だるまを超える記録に挑戦し、日本三雪の尾花沢を全国にPRしてはどうか。

**答** 大きな目標に向かって市民が一丸となり取り組むことは素晴らしいが、



高さ31.4m日本一の雪だるま

**問** 市民参画型のプロセスを大切にしたイベントを考えた。

**問** 市の雪研究会や宮沢雪プロジェクトと連携し、全国に誇る産学官共同の克雪・利雪研究が可能となる「山形県雪研究所」を本市に招致してはどうか。

**答** 県は「雪条例」の準備を進めている。県や市内組織との連携強化を図り、雪に対する取り組みを積極的に推進していきたい。

**問** 市の雪研究会や宮沢雪プロジェクトと連携し、全国に誇る産学官共同の克雪・利雪研究が可能となる「山形県雪研究所」を本市に招致してはどうか。

**答** 県は「雪条例」の準備を進めている。県や市内組織との連携強化を図り、雪に対する取り組みを積極的に推進していきたい。

**問** 引越し費用の助成など三世同居や近居推進のまちづくりを進めはどうか。

**答** 現在のふるさと暮らし応援事業は来年度で期限になるため、第8次対策の中で見直しを行いたい。

**問** 三世同居推進のまちづくりを

**答** 現在のふるさと暮らし応援事業は来年度で期限になるため、第8次対策の中で見直しを行いたい。

**問** 鳥獣対策を上市市に学べ

**答** 上市市の鳥獣害防止対策を参考にモデル地区を設定して、共同払いや大規模電気柵、スライカ摘果処分場の設置などを試行してはどうか。

**問** 有害鳥獣対策の中心役割を担う猟友会

**答** 有害鳥獣対策の中心役割を担う猟友会



どうしたらできるのかを真剣に考えてける！

議員のつぶやき…

# 危険な空き家に課税してはどうか

## 市長…税の創設は難しい



鈴木 裕雅 議員

**問** 再生が難しく老朽化が進んだ危険な空き家に対する今後の取り扱いはどうするのか。

**答** 調査による再利用が困難な153件の空き家に対し、所有者に郵送で意向調査を実施している。「解体費用の確保が難しい」「相続が済んでいない」などの課題がある。

**問** 危険な空き家に対する税を創設し、それを財源に行政代執行による撤去・取り壊しなどの対策を講じるべきではないか。

**答** 危険な空き家に対する税の創設は、地方税法のなかでは法定外目的税に位置づけられる。全国的にこのような税を創設している自治体はなく、なお



空き家

かつ国の同意が必要であるために創設は難しい。本市では現在、空き家の除却に対する支援を検討している。

**問** 野生鳥獣による被害防止策は未だ有効な対策が確立していない。どのような対策を講じるべきと考えているのか。

**問** 今後の鳥獣対策は

**答** 野生鳥獣による被害防止策は未だ有効な対策が確立していない。どのような対策を講じるべきと考えているのか。

**問** 専門員を配置し各種対策にあたっている。

**答** 簡易電気柵の設置や地域が一体となった払い活動は今後も行っていきたい。

**問** 地区での追い払い活動を行っているが、隣の地区に移動するだけだ。根本的な解決のために、山でつながっている近隣自治体とも連携した取り組みが必要ではないか。

**答** 近隣市町村との連携については、鳥獣被害対策指導者養成研修会や南東北3県(山形・宮城・福島)にまたがる、「ニホンザル対策に特化した南奥羽鳥獣害防止対策協議会」で情報共有を図りながら、さらに効果的な鳥獣対策に取り組んでいきたい。

**問** 市長公約の実現のために

**答** 「心の通う市政の実現」を公約に掲げているが、市長が考える心の通うとは具体的にどういう市政をいうのか。

**問** 実現のためのキーワードは「対話」であると考えている。市民の皆様と対話の場を設け、地域の声に耳を傾けながら地域と行政が課題を共有し、良好な関係のもと、地域・行政の役割についてそれぞれ取り組んでいく一連の流れが「心の通う市政」であると考えている。



先進的な取り組みを率先して行わないと!!

議員のつぶやき…

# 広域組合議会の報告

10月26日に同組合議場で定例会が開かれた。平成29年度一般会計決算認定など6議案が上程され、一般会計歳入6億3千136万円・歳出6億1千786万円、公共下水道事業特別会計歳入5億7千127万円・歳出5億5千721万円、尾花沢市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入8千511万円・歳出8千919万円、水道事業会計総収益4億9千12万円・総費用3億7千192万円。平成30年度一般会計補正予算70万4千円を、リサイクルプラザ西側・外壁修繕、斜面復旧設計業務委託とし、原案どおり可決し閉会した。

## 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

今後、医師や看護師の確保とともに、老朽化した病棟の建て替えなどの大きな課題については、情報提供を行いながら皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

## 北村山公立病院組合議会

12月25日に第3回定例会が開催され、一般職員給与に関する条例の一部改正、神経科を脳神経科に改めるための条例の一部改正を可決した。また、繰出基準額の変動などに伴う3市1町負担金の補正を行う3議案とともに、入院収益の減少などに伴い4千84万2千円を減額し、本年度予算総額を54億1千56万2千円とする補正予算を可決した。

# くらしを破壊しない国保税にすべきでは

## 市長…国保会計の健全運営に努めたい



鈴木 清 議員

国民皆保険を支える国保税なのに、国庫補助が1兆円足りないのです



議員のつぶやき…

**問** 本市の国保税は県内で3位と高く「保険料が重く生活できない」と市民から声が寄せられているがどう認識しているか。

**答** 県の運営方針に従い資産割を廃止し、3方式に税負担の軽減に努めたが高結果となった。要因として①被保険者の所得が他市町村と比べ多い②単独世帯・二人世帯が多いため、世帯ごと課税の平均割の比重が大きくなっている。被保険者の税負担が増えることがないよう国保会計の健全運営に努めたい。

**問** 子育て支援に逆行しないために、子どもの均等割を廃止してはどうか。

**答** 本市は子どもの医療費の無料化を高校生

世代まで拡充している。保険制度の公平性と子育て支援の観点から、軽減措置は国と他市町村の動向を見極めながら対応していきたい。

**問** 本市の国保税滞納世帯率は32世帯(13.75%)であるが、生活実態をよく把握し、親身に相談し徴収活動を行うべきと考えるがどうか。

**答** 実施要綱に基づき、通知を送付し納付相談を案内している。滞納世帯の個別訪問相談や夜間納税相談などを行っている。納税力に応じて分割納税をしていたり、日常生活に支障を及ぼさないことを基本として納税しやすい環境づくりに努め、納税への理解をお願いしている。

**「子どもの貧困」県調査と子育て支援**

**問** 県による初めての実施調査から「子どもの貧困率」は16%で、全国平均13.9%を上回った。どのように受け止めているか。

**答** 各市町村の分析結果は3月に示されるが、今後も相談しやすい環境づくりときめ細やかな対応、解決に向けた取り組みを行いたい。

**問** 貧困とされる世帯の子ども53%が参加したいと回答している「子ども食堂」を企画・運営する考えはないか。

**答** NPOなどの実施団体を自治体が支援す

る体制が適当と考えている。

**問** 就学援助の受給者が平成30年7.1%と増加しているが、今後「眼鏡・コンタクト」の項目を増やしてはどうか。

**答** 県内では実施している自治体はなく、動向を注視し対応したい。

**問** 学校給食の半額補助から全額補助に進んではどうか。

**答** エアコンの設置や教育環境整備も喫緊の課題であるため、半額補助が妥当と考えている。

## 北村山広域行政事務組合議会

12月21日村山市議会議場で臨時会を開き、平成30年度一般会計補正予算80万1千円(人件費を追加し、総額9千615万1千円とした。人事案件は、教育委員会委員の任期満了に伴い、東根市の元木正史氏を再任し閉会とした。また、平成30年度教育賞・教育奨励賞に輝いた方々は左の通りです。



平成30年度自作視聴覚教材コンクール社会部門で玉野地区(地藏ころがし)を山形県教材コンクールに出展中

### 北村山教育賞表彰者

- \*武田千捺さん(仙台育英高等学校3年) 尾花沢市出身  
女子第29回全国高等学校駅伝競走大会 優勝
- \*青野心音さん(山形中央高等学校2年) 東根市出身  
第11回U18日本陸上競技選手権大会 400メートル優勝(大会新記録)
- \*齋藤元希さん(筑波技術大学2年) 大石田町出身  
2018パンパシフィックパラ水泳選手権大会  
混合400mフリーリレー 第1位  
男子200m個人メドレー SM13クラス第2位  
男子400m自由形 S13クラス第3位  
男子100m背泳ぎ S13クラス第3位
- \*比嘉 薫氏(北村山高等学校教員) 村山市出身  
第16回男子ジュニア・アジア選手権ハンドボール大会  
ハンドボール部監督として全国大会17回出場(武田享選手、藤勢流選手などを育成)

### 北村山教育奨励賞表彰者

- \*村山市立楯岡小学校合唱部 村山市  
NHK全国学校音楽コンクール県大会の部10年連続金賞(通算25回金賞受賞)  
NHK全国学校音楽コンクール東北大会小学校の部 銅賞4回受賞  
TBCこども音楽コンクール東北大会小学校の部 優秀賞3回受賞



# 人口減少、定住対策に田園回帰1%戦略を！

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、10月15日～17日まで、**島根県**に行政調査に行きましたので報告をいたします。

**益田市のNHK「フローズンアップ現代」**で紹介された藤山浩先生を訪ねた。



益田市 藤山先生と

地区人口の1%の移住者を呼び込めば、企業誘致などに頼る必要はないとして「田園回帰1%戦略」を提唱している。市全体の人口分析、将来人口の予測、必要な定住増加人数、出生率向上、若者の流出率抑制策を具体的に算出する。

**大田市**は、1市2町が合併し人口約3万5千人で、島根県で一番人口減少が激しく、「ふるさと回帰促進事業を推進している。具体的な取り組みとしては、25才同窓会や保育士さんいらっしやい奨励金などで、これらが功を奏して、合計特殊出生率1.87(全国1.43)となった。課

題としては、転出者の歯止め策の検討が必要とされていた。

**飯南町**は、中国地方の「住みたい田舎」ランキング「若者が住みたい田舎」「子育て世代が住みたい田舎」「シニア世代が住みたい田舎」の3部門で昨年に引き続き1位を独占している。

**出雲市**は、平成17年に2市5町の合併を機に独自のコミュニティセンター制度があり、各地域の特色を活かした自主企画事業や、住民と連携協働し、地域の課題を解決しながら住みよいまちづくりを実施している。

# 市政に活かす！

## 一問一答方式を学ぶ

議会運営委員会

議会運営委員会では、11月5日～6日に行政調査を行いました。

**茨城県常総市議会**の一般質問は、三つの方法からの選択制を採っているが約8割の議員は始めから一問一答方式を採っている。質問の場所は、始めは壇上から、次からは質問席で行う。

以上、石川町の事例を参考にすると、初めは一括質問をし、二回目からは一問一答方式で行うのが良いようだが、答弁書の配付が重要であると考える。



石川町議会

**福島県石川町議会**の一般質問方式は、初めに一括質問し、次に一問一答方式で再質問す

## 市民の行動から行政が動く！

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会では、10月15日～17日まで行政調査を行いましたので報告をいたします。

**福井県若狭町**では、新規就業支援について研修した。

わかさ農活プロジェクト「就業定住応援」に基づく農業生産法人「かみなか農楽舎」を訪れた。そこでは、農業と農村地域の再生と地域づくりを目指した就農・定住研修事業、インターンシップ受入

事業、農業生産事業、直販事業、体験学習事業を実施し、新規就業者の定着を図っている。これまでの町内定住者が27人となり、当初の目的を達成しているとのことである。

平成29年に兵庫県高齡者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業に認定された。このまちに住み続けるために、団地70戸を対象に、高齡者や身障者の通院・買い物などの外出の同行や介助を含む有償福祉移送を実施している。

**滋賀県近江八幡市**では、景観整備事業について視察した。

平成22年の市町村合併を機に、市全域の景観計画を策定した。湖畔、水郷、田園、伝統的街道などの市街地をエリア化し、規制誘導の一貫性を図り、整合の取れた景観づくりを展開している。

人を助けることが生きがいとなり、自分たちのことは自分たちで守るという機運が高まっている。



かみなか農楽舎

近江商人の、売り手よし、買い手よし、世間よしとする『三方よし』の発想を垣間見た。

決算と豪雨の記事は、視覚に訴えている。(今後も頑張ります)

市民の皆さんに届けようとする熱意が伝わる。(ありがとうございます)

表紙は元気な尾花沢のイメージが欲しい。(各地区のイベントを取り上げています)

小中学校の活動を載せると、もっと活き活きする。(次回お楽しみに)

尾花沢市をさらに良くしようとする意欲が伝わる。(一丸となって頑張ります)

## 市議会だより99号へのモニターの声

表紙のフライングシューズ大会に参加してみたい。(ぜひお願いします)

全面カラーの方がより分かりやすい。(ページ数を増やすために単色刷りにしています)

表紙は中高年、最後は新成人と世代のつながりを感じさせる構成でよい。(これからも工夫します)

# 学んだことを

おばなざわ市議会だより  
100号発行によせて

「市議会だより」第100号の発行にあたり、心よりお祝い申し上げます。このたよりは、先輩議員の方々が、他自治体の議会だよりを研究しながら写真撮影や原稿の校正など、ご苦勞を重ねて発刊されたものとお聞きしております。

尾花沢市長 菅根 光雄

「市議会だより」第100号の発行にあたり、心よりお祝い申し上げます。このたよりは、先輩議員の方々が、他自治体の議会だよりを研究しながら写真撮影や原稿の校正など、ご苦勞を重ねて発刊されたものとお聞きしております。

「市議会だより」第100号の発行にあたり、心よりお祝い申し上げます。このたよりは、先輩議員の方々が、他自治体の議会だよりを研究しながら写真撮影や原稿の校正など、ご苦勞を重ねて発刊されたものとお聞きしております。

創刊号から議員自らが編集にたずさわった議会だよりは、大きな節目を迎えることができました。

これからも、市民の皆様にご覧いただけるようにわかりやすい議会だより編集に努めてまいります。

小関 英子  
議会だより編集委員長

伝える議会だよりから

議会情報となって25年の あゆみ 平成6年4月～平成31年1月

特集

# 議会だより 100号 記念

- ・手に取り開きたくなる
- ・小学校高学年が読める
- ・市民目線で



ご協力いただいた皆さん  
ありがとうございます!!

私のひとこと  
2号～

各地区で活躍する方のべ82名

マーク  
20号～72号

「雪とスイカと花笠のまち  
尾花沢」のロゴマーク  
大石田在住 矢作善行さん

議員の似顔絵、  
議会だよりタイトル

95号～

地域おこし協力隊  
ふるせしおりさん

読者モニターの声

95号～

市民と北村山高校生の生の声を掲載

写真の提供

市広報係 各地区公民館

編集と印刷

鈴木印刷さん (有)文化堂さん

平成	号	内容	編集委員長	副委員長
6年	創刊号	B版8頁～12頁で創刊	名木野 功	大類 準一
	4号	表紙「ふるさと発見」、「私のひとこと」開始		
	5号	A版に紙面を大きくし発刊		
7年	14号	「シリーズ議会」議会を分かりやすく伝える	笹原 光政	鈴木 忠
9年	15号	写真には分かりやすく説明(キャプション)を入れる	鈴木 忠	菅根 光雄
11年	23号	特集「首都圏尾花沢会と国会陳情」	大類 準一	奥山 格
13年	31号	写真撮影に動きをつけて撮影し工夫する	菅野 駿	奥山 格
15年	39号	異常気象農作物被害対策特別委員会を設置	井上 拓夫	加賀 正和
16年	43号	PDFデータダウンロード始まる		
17年	47号	議会メモ：議会傍聴のよびかけ		
19年	55号	議会メモ：9月定例会について	菅根 光雄	笹原 光政
21年	63号	行政調査に来市された議会多数	奥山 格	菅野 修一
23年	75号	インターネット中継と録画放送始まる	菅野 修一	笹原 光政
25年	81号	決議の賛否表掲載開始	大類 好彦	塩原未知子
27年	92号	読者モニター制スタート(募集)	塩原未知子	青野 隆一
	94号	一般質問1議員1ページ		
	95号	一般質問に議員のつぶやきとイラスト似顔絵入れる		
29年	95号	一般質問に議員のつぶやきとイラスト似顔絵入れる	小関 英子	鈴木 裕雅